

令和5年度第4回当別町地域公共交通活性化協議会議事概要

1 開催日時及び開催場所

日時:令和6年2月14日(水)13:30~14:20

場所:当別町役場第2庁舎 2階会議室

2 出席委員

別紙委員名簿のとおり

3 協議会の概要

≪次第2 報告事項≫

(1)令和5年度当別町地域公共交通活性化協議会決算見込みについて

資料1に基づき事務局より説明した。

質疑等なし

(2)道路運送法の改正による運賃協議分科会の設置について

資料2-1、2-2、2-3、2-4に基づき事務局より説明した。

質疑等なし

≪次第3 協議事項≫

(1)あいの里金沢線及び西当別道の駅線のルート変更等について

資料3に基づき事務局より説明した。

【質疑等】

種田委員:スウェーデンガーデンのルート変更は、地域からの要望があつての変更か。

事務局:地位からの直接的な要望はないが、現在のバス停と周辺の住宅との距離が遠いことから、それに対応するルート変更である。また、デベロッパーからの相談があつたことに加え、事前にバス停設置予定場所の地先の住民にヒアリングを実施した際に、変更されると大変便利になるという声があつた。

(2)令和6年4月1日付け運行ダイヤ改正(案)等について

資料4-1、4-2に基づき事務局より説明した。

質疑等なし

(3)令和6年度当別町地域公共交通活性化協議会運行事業計画(案)について

資料5に基づき事務局より説明した。

【質疑等】

岩間委員:別紙2「運行系統・運行回数」のページ下部注意書きで年末年始運行の記載があるが、変更前の記載となっている。

事務局:記載の誤りにつき、修正する。

脇本委員:お盆と年末年始の変更は運転手の負担軽減となり大変助かる。

岡部会長:運転手の健康管理上もあり、このような変更とさせていただく。

経亀副会長:バリアフリーに配慮した車両の導入とあるが、具体的な計画はあるのか。

事務局:現状具体的な計画はない。運行事業者からは、今すぐに車両の更新があるとは聞いていないが、次年度以降も運行計画に記載し、推進したいと考えている。

(4)令和6年度当別町地域公共交通活性化協議会予算(案)について

資料6に基づき事務局より説明した。

【質疑等】

経亀副会長:支出の事業費の項目でキャッシュレス決済の導入費があるが、どのようなものを想定しているのか。

事務局:QR決済に対応した端末をバス車両へ導入したいと考えている。

≪次第4 その他≫

(1)月形当別線について

資料7-1、7-2に基づき事務局より説明した。

【質疑等】

種田委員:地域間幹線系統補助金とサービス継続事業補助金は同じ省庁の補助金か。また、補助率は変わるのか。

事務局:どちらも国土交通省であり、どちらも補助率は二分の一である。なお、今までは輸送量が低く補助額は年間180万円程度だったが、サービス継続事業補助金になると3年間と期限付きだが、補助額は年間800万円程度になる。

岡部会長:サービス継続事業補助金は期間も限られており、経過措置的なものであるため、その後の運行について、あり方を検討する必要がある。主な利用者は月形町民であり、当別町として動くには限界があるが、月形町と連携して利用者確保に向けて対応する。

経亀副会長:サービス継続事業補助金は、地域間幹線系統補助金の最後の砦であり、無くなってしまうと全額自治体負担となってしまう。JRからの資金もあるが、人口の多いエリアではないので、当別町と月形町の公共交通について、運輸支局を含め、常に情報を共有し、連携するとともに、方向性の議論を行っていただきたい。

(2)今後のスケジュールについて

資料8に基づき事務局より説明した。

質疑等なし

以上